



IYC2025ニュース第15号

2025年12月23日発行

編集
・
発行

2025国際協同組合年全国実行委員会 <https://www.japan.coop/iyc2025/>

事務局 一般社団法人 日本協同組合連携機構
東京都新宿区市谷船河原町11番地 飯田橋レインボービル5階



【contents】

- ① 10年ごとに国際協同組合年(IYC)を実施する国連決議が採択されました
- ② ICA会長から日本の協同組合へのメッセージ
- ③ 2025国際協同組合年の取り組みの2026年以降の取り扱いについて
- ④ 「協同組合がよりよい世界を築く～チャレンジムービーコンテスト2025」応募受付終了と表彰について
- ⑤ “協同”がよりよい世界を築く～連続シンポジウム・座談会
 - 第6回「こども・若い世代が主役の社会をめざして～みんなで育てる未来～」シンポジウム開催報告
 - 第7回「食料安全保障をめぐる状況と協同組合が果たすべき役割」シンポジウム開催報告
 - 第8回「地域の未来を共創する協同組合のジェンダー平等」シンポジウム開催報告
 - 第9回「暮らしを支える医療・福祉」シンポジウム開催報告
 - 第4回「SDGsと協同組合」シンポジウムの開催報告書をアップしました
- ⑥ 全国各地の2025国際協同組合年の取り組み

①10年ごとに国際協同組合年(IYC)を実施する国連決議が採択されました

- カタール・ドーハで2025年11月4~6日に行われた第2回世界社会開発サミットの一環として、国際協同組合同盟（ICA）と協同組合振興推進委員会（COPAC）の共催により開催されたIYC2025の公式閉会行事（11月4日）において、国連経済社会局の包摂的・社会開発部長が「国連では10年ごとにIYCを実施することを検討している」と述べました。
- 10年ごとのIYC実施の呼びかけを含む国連決議のタイトルは「社会開発における協同組合」（Cooperatives in Social Development）で、第3委員会（社会開発や人権問題を取り扱う）での協議のため2025年10月14日に加盟国等に配布されました（添付）。なお、同タイトルの国連決議は2年ごとに行われてきており、前回2023年の決議ではIYC2025が宣言されました。
- 2025年11月11日、第3委員会の第42回全体会合に本決議案が提案され（日本も共同提案国の一つ）、賛成173、反対3（アルゼンチン、イスラエル、米国）、棄権0で採択され、国連総会本会議に送られることになりました。
- 2025年12月15日、本決議案が国連総会第62回本会議に提案され、賛成173、反対3（上記と同じ3国）、棄権0で採択され、国連総会での正式な決議となりました。今後、文書番号を付けた正式な国連決議として発表されることになります。
- 決議のなかの10年ごとのIYC実施に関する項目は「5. 社会・経済の発展の推進に向け、協同組合の企業モデルの効果的な活用を奨励するため、2025年の国際協同組合年に続き、10年ごとに国際協同組合年を宣言することを呼びかける。」と述べており、2035年に次のIYCが行われることになります。
- ICAでは、来年2月にIYC2035に向けたすすめ方を国連と協議する予定とのことです。

(参考情報)

○2025年11月11日の第3委員会の第42回全体会合について：

- ・採択された決議案（文書番号：A/C.3/80/L.15。2025年10月14日に加盟国等に配布）：
<https://documents.un.org/doc/undoc/ltd/n25/272/39/pdf/n2527239.pdf>
- ・同会合の動画記録（国連WebTV）：
<https://webtv.un.org/en/asset/k1k/k1kyzarxap>
(本決議の採択は動画内の2:18:30~2:31:55)

○2025年12月15日の第62回本会議について：

- ・採択された決議案：2025年11月11日に決議されたものと同内容。
- ・同会議の動画記録（国連WebTV）：
<https://webtv.un.org/en/asset/k1w/k1wr978ez8>
(本決議の採択は動画内の2:18:35~2:19:20)
- ・第3委員会からの報告（文書番号：A/80/545 <https://docs.un.org/en/A/80/545>）に基づき8つ目の決議案として提案され採択された。

国際連合

総会

第80回会期

第三委員会

議題項目25(b)

社会開発：社会開発、世界社会情勢及び青少年、高齢化、障害者及び家族に関する問題を含む

コートジボワール及びモンゴル：決議案

社会開発における協同組合

総会は、

社会開発における協同組合に関する

1992年12月16日の決議47/90、1994年12月23日の決議49/155、1996年12月12日の決議51/58、1999年12月17日の決議54/123、2001年12月19日の決議56/114、2003年12月22日の決議58/131、2005年12月16日の決議60/132、2007年12月18日の決議62/128、2009年12月18日の決議64/136、2010年12月21日の決議65/184、2011年12月19日の決議66/123、2013年12月18日の決議68/133、2015年12月17日の決議70/128、2015年12月17日の決議72/143、2017年12月19日の決議74/119、2021年12月16日の決議76/135、2023年12月19日の決議78/175、および、2024年6月24日の2025年を国際協同組合年と宣言する決議78/289を想起し、

協同組合は、その多様な形態において、地域社会およびすべての人々（女性、若者、高齢者、障害者、先住民族を含む）の経済的・社会的発展への可能な限り最大限の参加を促進し、こうした人々の包摂が経済的・社会的発展を強化するとともに、貧困と飢餓の撲滅に貢献することを認識し、

また、協同組合企業は、従来の利益追求型企業では対応が困難な社会的排除や脆弱な立場にある層にサービスを提供することが多いため、特に開発途上国において、包摂的開発を推進する社会的包摂政策を支援する上で重要であることを認識し、

さらに、協同組合その他の社会組織が、気候変動への適応と緩和に取り組む中で公正な移行を促進する上で重要な役割を果たし得ることを認識し、

「私たちの世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」¹と題するポスト2015開発アジェンダ採択のための国連サミットの成果文書の採択、第3回開発資金国際会議のアディスアベバ行動計画²及び第4回開発資金国際会議のセビリア・コミットメント³を再確認し、これらにおいて協同組合が2030アジェンダの実施及び開発資金調達において果たす役割が認識されていることに留意し、¹ 決議70/1 ² 決議69/313 付属書 ³ 決議79/323 付属書

社会的連帯経済が、集団的及び／又は一般の利益に奉仕する経済的・社会的及び環境的活動に従事する企業・組織及びその他の主体を包含し、これらは自発的協力と相互扶助、民主的及び／又は参加型ガバナンス、自律性と独立性、並びに剩余金及び／又は利益ならびに資産の分配及び使用における資本よりも人及び社会的目的の優先性という原則に基づくものであることを認識した2023年4月18日付決議77/281「持続可能な開発のための社会的連帯経済の促進」を想起し、

あらゆる形態の協同組合が、社会開発に関する世界サミット及び第4回世界女性会議（その5年ごとのレビューを含む）、国連住宅・持続可能な都市開発会議（ハビタットIII）、世界食料サミット、第2回世界高齢者会議、開発資金に関する国際会議、持続可能な開発に関する世界サミット、2015年以降の開発アジェンダ採択のための国連サミットへのフォローアップにおけるあらゆる形

態の協同組合の重要な貢献と潜在的可能性を認識し、

第2回社会開発世界サミットのフォローアップと実施における協同組合の役割をとりわけ強調している同サミットのドーハ政治宣言の採択を期待し、

協同組合が、持続可能で強靭かつ包摂的な食料システムへの転換プロセスにおける利害関係者としての役割を通じて、改善された世界の食料安全保障に向けて重要な貢献を果たし、またその恩恵を受けることができることを認識し、

世界には約300万の協同組合が存在し、世界の労働者の10%が協同組合に雇用されているか、協同組合内の労働者所有者であることに留意し、

協同組合が女性の経済的地位向上や能力開発（主要技能の教育・訓練を含む）に寄与し、若者、高齢者、障がい者を含む全ての人々の社会経済的発展を促進し得ることを認識し、
協同組合の発展が先住民族及び農村コミュニティの社会経済的状況の改善において果たしうる役割を高く評価し、

金融協同組合が、特に農村部や遠隔地において、信用供与や金融サービスへのアクセスを拡大することにより、金融包摂と地域経済発展を促進する上で極めて重要な役割を果たし、それによって不平等を減らし、コミュニティの回復力を強化していることを認識し、

特に農村地域における食料安全保障と栄養の改善、持続可能な農業慣行の促進、能力構築や訓練の提供を含む農民の農業生産性の向上、市場・貯蓄・信用・保険・技術へのアクセス促進など、農業協同組合の役割を明らかにするとともに、それによって持続可能な食料システムを強化する国連食糧農業機関の取り組みを歓迎し、

1. 事務総長の報告書に留意する⁴；⁴ A/80/168
2. 2012年の国際協同組合年の祝賀を高く評価して留意する；
3. また、2025年に再び国際協同組合年が宣言され、ニューデリーで開催された世界協同組合会議でそれが開始され、同会議が、すべての加盟国、国連、その他すべての関係者に対し、この国際協同組合年を、協同組合を促進し、持続可能な開発目標の実施および社会経済開発全般への協同組合の貢献に対する認識を高める手段として活用するよう奨励したことを高く評価する；
4. すべての加盟国、国連、およびその他すべての関係者に対し、国際協同組合年に実施された活動を通じて特定されたベストプラクティスを共有し、必要に応じてこれらの活動を継続するよう奨励する；
5. 社会・経済の発展の推進に向け、協同組合の事業体モデルの効果的な活用を奨励するため、2025年の国際協同組合年に続き、10年ごとに国際協同組合年を宣言することを呼びかける；
6. 各国政府に対し、必要に応じ、協同組合の能力拡大のための目的を絞った予算支援を行うこと、協同組合、特に貧困層、若者、女性、高齢者、先住民、障がい者、脆弱な立場にある人々が主導する協同組合を振興すること、農業、保険、教育、雇用などの分野別戦略に協同組合を組み入れることを、奨励する；
7. また、各国政府に対し、持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラムに向けた自発的な国別レビューの準備の一環として、必要に応じ協同組合と協議することを、奨励する；
8. 事務総長報告における、協同組合のための起業エコシステムを強化するという提言（それは、都市部・農村部の様々な経済分野において、人間らしい雇用の創出、貧困や飢餓の解消、教育、

すべての人のための医療保障を含む社会的保護、金融包摶、手頃な価格の住宅の選択肢の創出への、協同組合のさらなる直接的な貢献を可能とする）、そして、国の法律や規制の環境を協同組合の設立や成長をより促進するものとするために、既存の法律や規制を見直すべきとの提言（それは、とりわけ資本へのアクセス、自治、競争力、公平な課税といった分野における、既存の法律や規制の改善及び／又は新規の法律や規制の制定を通じてなされる）へと、各国政府が注意を払うよう求める；

9. 政府及び国際機関に対し、協同組合及び協同組合組織と協力して、協同組合が人びとに力をもたらし、人びとが彼らの人生とコミュニティを前向きに変革し、包摶的な社会を構築するようにするため、あらゆる形態の協同組合、特に貧困層、若者、高齢者、先住民族、障がい者及び脆弱な立場にある人々が運営する協同組合の能力を強化・構築するよう要請するとともに、協同組合における—とりわけその意思決定プロセスにおける—女性や若者の完全かつ平等で、実質を伴う参加を保証するよう要請する；

10. 各国政府に対し、持続可能な生産と消費の促進に向け食料安全保障と栄養を向上させる取り組みを強化すること、適切な食料への権利の漸進的実現を推進すること、さらに、小規模な農業者と女性農業者に対して、また、農業・食料協同組合と農業者のネットワークに対して、取り組みを重点化すること（それらは市場や資金へのアクセスを改善し、国内的・国際的な支援的な環境を創出し、地域的な取り組みを含めてこの分野での多くの取り組みを横断する連携を強化する、こうした方策によってサポートされる）を要請する；

11. また、各国政府に対し、協同組合組織及び関係者と連携し、金融協同組合が、手頃な価格の金融へのアクセスの適切な手段として、また、地域の経済発展・開発のための適切な手段として、効果的に機能するための条件を整えるよう要請する；

12. 各国政府に対し、特に農村地域において、協働と協同組合拡大のための重要な手段としての情報通信技術へのアクセスを促進し、すべての女性・女子、障がい者、高齢者等に対するデジタル格差の解消に向けて取り組むよう奨励する；

13. また、各国政府に対し、協同組合の運営と貢献に関する実証研究の利用・入手の可能性と普及を強化・拡大すること、また、協同組合統計に関するガイドラインなどの利用可能な方法論を考慮し、全ての利害関係者と協力して、協同組合に関する包括的で詳細なデータ及び優良事例の体系的な収集のための統計的枠組みを開発すること、さらに、協同組合と持続可能な開発との関連性—とりわけ、社会的包摶、あらゆる形態・側面での貧困解消、不平等の縮小、ジェンダー平等及び女性と女児のエンパワーメント、平和構築といった分野における協同組合と持続可能な開発の関連性—についての国民の認識を高めることを、奨励する；

14. 各国政府、関連国際機関、専門機関、および地域や国の、また国際的な協同組合組織に対し、国連総会決議47/90で宣言された通り、毎年7月の第1土曜日に「国際協同組合デー」を祝うことを継続するよう要請する；

15. 各国政府に対し、協同組合運動と連携し、ジェンダー平等の原則と女性・女児のエンパワーメントを重視しつつ、組合員の組織・管理・財務に関するスキルの強化等による協同組合の能力構築を強化すること目指したプログラムを開発すること、また、協同組合の新技術へのアクセス改善のためのプログラムの導入と支援を行うこと、を要請する；

16. 各国政府に対し、女性に土地への平等なアクセスを提供し、女性の協同組合や農業プログラムを支援する法律や政策の制定・整備ための適切な措置を講じること、また、女性の協同組合が官民セクターの調達プロセスから恩恵を受けて取引を拡大できるようにするための適切な措置を

講じること、を奨励する；

17. 事務総長に対し、関連する国連機関及びその他の国際機関、並びに国・地域、国際的な協同組合組織と連携し、協同組合の発展を支援する環境整備に向けた加盟国の取り組みに対し、適切な形で支援を継続すること、協同組合の価値・原則・事業モデルを教育プログラム（適切な場合には、学校カリキュラムを含む）に統合すること、人的資源開発・技術助言・研修への支援を提供すること、既存の資源の範囲内で、国や地域レベルにおける会議・ワークショップ・セミナー等を通じた経験及び優良事例の交換を促進すること、を求める；
18. また、事務総長に対し、本決議の実施に関する報告書を第82回総会に提出するよう求める。

②ICA会長から日本の協同組合へのメッセージ

アリエル・グアルコICA会長から日本の協同組合にメッセージをいただきました。
各協同組合で共有をお願いします。

ICA会長から日本の協同組合へのメッセージ

2025年12月14日

日本の協同組合運動の仲間・友人の皆様、

日本の協同組合運動に対し、2025年国際協同組合年（IYC 2025）の準備段階からこの1年を通じて行われた皆様の卓越した取り組みに対し、心からの敬意と感謝を申し上げます。

2024年7月のIYC 2025全国実行委員会の早期の設立、また、日本の運動全体の強い団結は、アジア太平洋地域の協同組合運動との緊密な連携のもと、幅広い価値ある取り組みの実施を可能としました。この団結した取り組みは、日本の協同組合セクターの強さ、組織、そして長期的ビジョンを示すものです。

とりわけ、5月に採択された、持続可能な開発と社会・経済の進歩における協同組合の役割を認識し、協同組合の振興を求める国会決議は、大きな成果であり、日本の協同組合運動にとってずっと受け継がれていく財産となるでしょう。国連事務総長の7月の報告でも強調されているように、この決議は、世界レベルでみてもIYC2025の重要な成果として際立っています。

また、全国各地で実施された数多くの地域・県域での取り組みに対しても、ここに称賛の意を表します。活動が全国段階だけでなく日本の各地で展開されたという事実は、日本の協同組合運動の深さ、多様性、そして活力を示すものであり、世界の協同組合運動におけるリーダーとしての役割をさらに強化するものです。

IYC2025が終わりを迎えるようとしている今、今年が終着点ではなく、むしろ未来への礎（いしづえ）となったことは明らかです。この1年間に生み出された成果、パートナーシップ、共有された学びは、今後も私たちの協同の取り組みに刺激を与え、指針

となり続けるでしょう。

最後に、ICAにおける交流が、日本と他国の協同組合の国際的な協同の強化の触媒となつたことを、とりわけ嬉しく思います。こうしたつながりは、協同の真の精神を体現するものであり、IYC 2025で創り出された機運が今後も継承されていくことを確かなものとします。

IYC2025の成功と達成に対する皆様のご尽力、リーダーシップ、そして継続的な貢献に対し、心よりお祝いを申し上げるとともに、深く感謝申し上げます。

会長 アリエル・グアルコ

③2025国際協同組合年の取り組みの2026年以降の取り扱いについて

2025国際協同組合年（IYC2025）の取り組みは、国際的には暦年（2025年1月から12月）として行われ、2025年11月4日（火）カタールにおいて、国連協同組合振興促進委員会（COPAC）と国際協同組合同盟（ICA）共催の公式閉会式典が開催されました。

一方、日本国内においては、年度（4月から3月）での事業運営の考え方も浸透していることから、年度での2026年3月末を日本におけるIYC2025の取り組みの区切りとします。よって2025国際協同組合年の取り組みの2026年以降の取り扱いは下記のとおりとします。

1. 「2025国際協同組合年ロゴ」の取り扱い

「2025国際協同組合年ロゴ」は、2025国際協同組合年全国実行委員会が、委員会の構成団体、日本協同組合連携機構（JCA）の会員組織、同機構会員組織に加盟する単位協同組合等を代表して利用承認を得ており、上記組織の皆さんを中心に幅広くご活用いただきました。

「IYC2025ロゴ」の使用期限は、日本語版・英語版ともに原則2026年3月31日（火）までとなります。

- (1) 内外広報物への恒常的な掲載やノベルティグッズの新規作成等、期限以降の積極的使用は控えていただきますようお願いします。
- (2) 2025国際協同組合年全国実行委員会ウェブサイトにて公開中のロゴデータは、2026年3月24日（火）をもって非公開いたしますので、ご承知ください。<https://www.japan.coop/wp/16870>
- (3) ただし、2026年4月以降、作成済または使用中の刊行物・印刷物（名刺、チラシ等）の継続使用、ウェブサイト等での記録は可とします。また、2025国際協同組合年に関する報告を目的とした刊行物等への使用も可とします

(発行予定含む)。

※名刺・印刷物およびノベルティグッズ等の残数の取り扱いについては、各組織にて要否をご判断ください。

※ウェブサイト（バナー設置を含む）、SNS、その他デジタル媒体においては、IYC2025の記録を目的とする場合は使用可とします。各組織にてご判断ください。

※ご不明点や関連組織以外からの問い合わせ窓口は、引き続きJCAが担当します。

2. 「2025国際協同組合年広報資材・ノベルティグッズ」の発注・取り扱い

IYC2025の情報発信ためのツールとして、広報資材・ノベルティグッズの作成と管理を（一社）家の光協会に業務を委託してきました。

広報資材・ノベルティグッズの発注は、2026年1月30日（金）までとなります。

- (1) 在庫限りの対応となります（バッジ、タペストリー10枚セット、ふせんは既に終了）
- (2) 発注ページ(家の光協会へ委託)は、発送対応終了後、2月27日（金）に閉鎖いたします。<https://www.iенohikari.net/iyc> 各団体において保有されている広報資材・ノベルティグッズは、原則2026年3月末までにご使用ください。
- (3) 2026年4月以降の使用・保管につきましては、各組織にてご判断ください。

3. 「各種タペストリー・IYC2025ロゴ旗」の使用・貸出

全国実行委員会にて対応している各種タペストリー（各協同組合紹介用・IYC2025紹介用）およびIYC2025ロゴ旗の貸出は、2026年3月24日(火)返却予定期分までとします。

「各種協同組合紹介用タペストリー(10枚セット)」につきましては、2026年4月以降も貸出対応を継続する予定です。ご希望の場合は、個別にお問い合わせください。なお、上記期日以降は貸出依頼先に送料を全額ご負担いただきますので、予めご了承ください。ご購入いただいた「各種協同組合紹介用タペストリー(10枚セット)」は、2026年4月以降も引き続きご使用いただけます。

4. 「2025国際協同組合年事業 認定・後援」の申請・報告書提出

広告媒体等に明示・発信することで記念事業としての特別性の発信・訴求を下支え、事業の効果的な実施を促すことを目的に、2025国際協同組合年（IYC2025）の趣旨を踏まえ実施される事業を対象に「2025国際協同組合年事業」としての認定・後援を行いました。2025年12月までの取り組みを対象としているため、2026年1月以降に実施する取り組みは対象外となります。申請の受付は、2025年12月

15日(月)をもって終了させていただきました。

実施後の「2025国際協同組合年事業実施報告書」は、2026年1月30日(金)までにご提出をお願いします。

(1) 報告書の様式は、以下のURLよりダウンロードいただけます。

<https://www.japan.coop/wp/16997>

(2) 既に実施済の事業を含め、報告書の提出が確認できていない団体・申請者宛てに、別途提出依頼をメールでお送りいたします（1月以降）。

5. 『IYC2025ニュース』の発行

現形式での発信は、2026年3月までを予定しております。2026年4月以降の情報発信については、検討中につき追ってご案内いたします。

6. 「“協同”がよりよい世界を築く～連続シンポジウム・座談会」の動画等の公開

(1) 動画全9本（予定含）は、2026年12月末までの公開とします。

(2) 登壇者資料は、動画と同様に、2026年12月末までの公開とします。

(3) 開催報告書は、実施記録として原則期限を設けずに公開します。

7. 「2025国際協同組合年総括文書（仮称）」の公表

現在、「2025国際協同組合年総括文書（仮称）」の作成を進めています。2026年3月24日（火）実施予定の第3回全国実行委員会での承認を経て、JCAホームページ内「2025国際協同組合年全国実行委員会ウェブサイト」での公開を予定しています。

8. 「2025国際協同組合年全国実行委員会ウェブサイト・公式SNS」

現在開設している「2025国際協同組合年全国実行委員会ウェブサイト」および各種公式SNSにつきましては、全国実行委員会解散（2026年3月24日予定）後、JCAがその管理を引き継ぎます。

9. 本件問い合わせ先

一般社団法人 日本協同組合連携機構（JCA） IYCプロジェクトチーム
メールアドレス：iyc2025@japan.coop 電話：03-6280-7254

※上記メールアドレスでの対応は、2026年3月31日（火）までとなります。

4月以降のお問い合わせは、以下までお願いします。

●お問い合わせフォーム：[JCA | お問い合わせ](#)

●電話：03-6280-7254



④「協同組合がよりよい世界を築く～チャレンジムービーコンテスト2025」応募受付終了と表彰について

1. 各部門の応募受付終了について

「協同組合がよりよい世界を築く～チャレンジムービーコンテスト2025」（略称「協同のチカラ！ムービーコンテスト」）は、ショート動画部門を2025年5月1日、ロング動画部門を10月1日より応募を開始し、いずれも11月30日に受付を締め切りました。ロング部門には13件、ショート部門には69件の応募がありました。ご応募いただいた団体の皆さま、誠にありがとうございました。

2. 表彰について

(1) 「いいね！賞」（ショート部門・ロング部門）

いいね・高評価が多かった作品に対して、「いいね！賞」の表彰を行います。

いいね数の集計については、2026年1月5日（月）10時時点の数とします。動画をご覧いただき、良いと思った作品に対して“いいね”“高評価ボタン”での応援をお願いします。

(2) 「IYC2025賞」（ロング部門）

「協同組合の『持続可能な開発目標（SDGs）』に貢献する取り組みへの理解と共感の促進」の観点に基づき、2025国際協同組合年全国実行委員会幹事会にて最も優れた作品を選定し、表彰を行います。

※(1)(2)の受賞結果については、1月下旬以降に該当の団体宛てに個別にご連絡します。

※2026年3月24日（火）開催予定の第3回全国実行委員会にて、表彰を行います。
受賞団体には、オンラインでの参加を依頼します。

3. ロング動画部門応募作品一覧（13件）

こちらから視聴できます（YouTube）

<https://youtube.com/playlist?list=PLpHCULdlczFk0uYC62w7nQ8sJKD0JFWzW&si=ZVuxadQcHS1XpquH>

アカウント名：2025国際協同組合年全国実行委員会

ユーザー名：@2025国際協同組合年



No	団体名	作品タイトル	URL	備考欄
1	みなど医療生活協同組合	みなど医療生協ってイイネ♪	https://www.youtube.com/watch?v=csHJI7gw7U 	◎作品概要・アピールポイント: 協同組合として、主体的に参加することの楽しさ、仲間がいる心強さ、願いを叶える力、広がる活動……などが伝わる、元気な動画に仕上げました。個々の笑顔を最初に出し、その後大勢の集合写真で楽しさを伝えています。多岐にわたる活動を3分間に纏めるために、紹介活動はかなり絞り込んでいますが、観た人が元気になって、より活動に参加したくなるようになればと思っています。
2	香川医療生活協同組合	2年目研修で海洋ごみの学習をしました！	https://www.youtube.com/watch?v=Ackri91P5UU 	◎作品概要・アピールポイント: 海ごみ問題について、地域組合員さんと一緒に学習したいと思い、2年目研修の学習テーマに選びました。 研修当日に行った海岸はクリーンアップされた後で、思ったよりゴミが少なかったですが、説明を受けていると様々なゴミが見えてきました。プロから教えていただき、自分の目で見て、地域組合員さんと一緒に考えることで自分たちができることを考えることができました。学んだことを職員も組合員さんも周囲に語り、取り組みを広げていきたいと思います。
3	こうち生活協同組合	こうち生協くらしの助け合いの会 コープたんぽぽ紹介動画	https://www.youtube.com/watch?v=HQUucNnnocY 	◎作品概要・アピールポイント: コープたんぽぽは今年で27年目を迎えた、くらしの助け合いの会です。この動画は、活動に関心をもたれた方には必ず観ていただき、内容を理解してもらうための大変なツールで、その中から一部抜粋したものです。9年ぶりにリニューアルいたしました。 今回特に力を入れたことは、この活動を通して知り合った利用会員と活動会員両方にご出演いただき、活動会員は助けているだけではなく、自分のためにもなっている相互援助であること、活動を通して得られる人と人との縁、心の繋がりの大切さを全面に出したことです。 この動画を作成するにあたり、出演を快諾してくださった組合員さんには大変感謝しております。 また、ナレーションを担当してくださったのは、活動をよく理解してくださっている現役の活動会員である、理事さんにお願いしました。
4	新居浜医療福祉生活協同組合 デイサービスのんびりさん	のんびりさんのみんなでつくる、みんなで守る未来	https://www.youtube.com/watch?v=IC0XA2K1ZdQ 	◎作品概要・アピールポイント: <概要> ○のんびりさんの日常の風景 ○協同組合の価値 ○SDGsへの取り組み ・新聞紙を折ってごみ袋を作り、プラスチック袋の使用を減らす ・着なくなったTシャツをリメイクしてエコバッグを作り、再利用の楽しさを体験 ・完成した作品を日常生活で活用し、持続可能な消費を実践 <アピールポイント> ・SDGs12の実践:廃棄物を減らし、資源を有効活用する取り組みを利用者自身が体験できる。 ・参加型・楽しさ:工作を通じて「作る喜び」と「使う責任」を感じられる。 ・環境意識の向上:身近な素材を使うことで、環境問題を自分ごととして考えるきっかけになる。 ・地域・家庭への広がり:作ったエコバッグを持ち帰り、家族や地域にも持続可能な行動を広げられる。 ・創造性と達成感:不要になったものが新しい形で役立つことを実感でき、達成感や生きがいにつながる。
5	NPO 地域と協同の研究センター	豊川海軍工廠でボランティアガイドをされている前澤このみさんに案内をしてもらいました	https://www.youtube.com/watch?v=WfbmOEI41zk 	◎作品概要・アピールポイント: 愛知県新城市にお住いの前澤このみさんは、豊川海軍工廠のボランティアガイドをされています。工廠の跡地が整備されボランティアが募集されたときの第1期生となります。前澤さんの隣の家のお嬢さんが豊川海軍工廠への空襲で亡くなつたこと、進学した新城高校の前身が海軍工廠に女子挺身隊を送り出していた新城高女であったことなどが平和への思いを強めてきたとのこと。そのことは生協の活動に参加しても、平和は大事な活動だと思って参加してきたということでした。戦後80年に、ちょうど空襲のあった8月7日に前澤さんに案内をしてもらった記録となります。

No	団体名	作品タイトル	URL	備考欄
6	NPO 地域と協同の研究センター	私の記憶は3歳の終戦の日から始まります	https://www.youtube.com/watch?v=Hw79kCmBP6Y 	◎作品概要・アピールポイント: 名古屋市にお住いの富田祥子さんは、この戦後80年に83歳。現在の北朝鮮の中国との国境近くに、終戦当時は住んでいました。終戦とともに朝鮮半島の山の中を、3歳の富田さん、妹、母、祖母の4人でさまよいながら、なんとか引き揚げてこられました。彼女の記憶はその3歳のときから始まりますとのこと。今、名古屋で難民支援の取り組みを名古屋難民支援室や地域と協同の研究センターですすめていますが、その際に、食料を届けていただいたり、パンを焼いては重たいリュックを背負って持ってこられます。その思いは、戦後の引き揚げの時、売られていった子どもたち、寒さで亡くなる人々を見た鮮烈な記憶から始まっていると思います。その経験と思いを短い動画にしています。
7	香川医療生活協同組合	新しい未来へ～安心して暮らせるまちづくり～	https://www.youtube.com/watch?v=y6yYjuMeNH4 	◎作品概要・アピールポイント: 香川医療生活協同組合では、いろいろな取り組みを行っています。『誰もが住み慣れたまちで、最後まで、その人らしく生活ができるように』支援・取り組みなどを進めている様子をお伝えしています。 その中で、「生協みき診療所」が 2026 年 10 月に新築移転を致します。職員と組合員が協同して、移転計画を進め、話し合い、『みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり』を目指しています。
8	とやま生活協同組合	地域(みんな)でつくるとやまの未来～住み慣れた地域で、いつまでも～	https://www.youtube.com/watch?v=OkmucgxP_uY 	◎作品概要・アピールポイント: とやま生活協同組合がめざす「住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会」の実現に向けた事業・活動・想いを、3分間にぎゅっと詰め込みました。 宅配・福祉・共済・生活支援・店舗事業のつながりを軸に、環境への取り組み、地域の中で人とのつながりをつくる活動、助け合いの力を生かした支援など、とやま生協が行っている取り組みを SDGs の観点からご紹介します。 私たちだけではできないことでも、組合員やお取引先、地域のみなさんと力を合わせれば、地域の未来をつくっていけるはず。そんな思いを【地域(みんな)でつくるとやまの未来】というビジョンフレーズに込めて、これからも富山県のくらしに寄りそい、支えていきます。
9	日新信用金庫	SDGsに向けた日新信用金庫の取り組み	https://www.youtube.com/watch?v=340ptAdzSPk 	◎作品概要・アピールポイント: 日新信用金庫が取り組んでいる SDGs に関するさまざまな取り組みを紹介しています。 「地域社会に密着し、お役に立つ信用金庫として信頼される」「健全経営をモットーに、効率経営に全員参加する」「公平、適切な人事管理によって、活力みなぎる職場をつくる」という経営理念のもと、数多くの活動を通して地域の方々と歩んでまいりました。 協同組織の金融機関として、『助け合い』と『信頼』を重視し、地域の発展に貢献していきます。
10	こくみん共済 coop(全国労働者共済生活協同組合連合会)	たすけあいで社会を動かす	https://www.youtube.com/watch?v=9sFD1BHajCg 	◎作品概要・アピールポイント: 『あなたの思う協同組合とは?』——その問いに、実際の職員が自分の言葉で答えました。 こくみん共済 coop で働く、新入職員から中堅・ベテランまで、日々の仕事の中で感じる「たすけあい」の意味をインタビュー形式で記録した動画です。 一人ではできないことも、誰かと力を合わせることで前に進める。協同組合の本質である「たすけあい」が、それぞれの職員の体験と想いの中に息づいていることを伝えています。 撮影・企画・編集はすべて職員による内製。“リアルな声”と“現場の想い”をそのまま届けることを大切にしました。 この映像が、協同組合の価値にふれるきっかけとなれば幸いです。

No	団体名	作品タイトル	URL	備考欄
1 1	やまゆり生活協同組合	くらしから世界へ。協同の輪を広げよう～生協の組合員による国際協力～	https://www.youtube.com/watch?v=OHQnL6H7SRc 	<p>◎作品概要・アピールポイント:</p> <p>本作品は、やまゆり生活協同組合が、認定 NPO 法人ハンガー・フリー・ワールドの「書損じハガキ回収キャンペーン」に参加する全国 40 の生活協同組合を代表して制作したムービーです。</p> <p>“くらしの中の助け合いで、世界の食を支える力になりたい”——協同組合員の想いと行動を描いています。組合員が自宅で見つけた一枚の「書損じハガキ」が資金となり、やがて飢餓に直面する世界の農村で、協同組合づくりを支え、その地域の人々が自ら食を守る力へと変わっていく。そのプロセスには、「誰一人取り残さない社会をつくる」という SDGs の願いそのものがあります。</p> <p>2025 年には、40 生協の組合員 672 万人への呼びかけを行い、7 万名以上が参加。ハガキなどの寄贈に始まり、集まった寄贈物の仕分け・カウントのボランティア、支援先について知る学習会、支援先からの視察受け入れなど、組合員の多様な“参加”が積み重なり、協同組合の魅力である「力を合わせる」実践が広がりました。</p> <p>作品が伝えたいのは、くらしの現場にある「小さな助け合い」「相互扶助」が、世界の未来を動かす力になるということ。協同組合の価値を、行動と心の両面から感じられる動画として仕上げています。</p>
1 2	東京都生活協同組合連合会	親子で楽しむ！！協同組合フェスタ TOKYO2025	https://www.youtube.com/watch?v=97tckCi6ifg 	<p>◎作品概要・アピールポイント:</p> <p>前回の IYC を契機、東京都内の協同組合間の協力と連携のあり方を考える連絡協議会を構成し、交流を深めてきた 9 つの協同組合団体組織は、IYC2025 に際し、広く東京都民に協同組合の認知を広げるため、「2025 国際協同組合年東京都実行委員会」を設立しました。</p> <p>その記念事業として、2025 年 9 月に「親子で楽しむ！！～協同組合フェスタ TOKYO2025」を開催しました。</p> <p>それぞれの団体の特色を持ち寄って親子に協同組合の社会的役割を知ってもらえるブースを出展し、約 450 人の都民に楽しんでいただきました。その様子を動画にまとめました。</p>
1 3	岡山医療生活協同組合総合病院 岡山協立病院	協同のチカラ～病棟テラス再生プロジェクト～	https://www.youtube.com/watch?v=SdsjZ_n8aHA 	<p>◎作品概要・アピールポイント:</p> <p>＜概要＞</p> <p>かつて草が生い茂り、長い間手つかずだった病棟テラス。この場所を、リハビリスタッフを中心とした多職種の協同で一から整え直し、失われていた資源を丁寧に活かしながら、癒しと再生の空間へと生まれ変わらせました。DIY に不慣れな職員も多い中、さまざまな部署へ声をかけ合い、支え合いながら作業を進め、“みんなでつくる”という医療生協らしい協同の姿勢で完成に至りました。テラスには芝生や、組合員・患者さんも触れられる小さな畑スペースなど、自然とふれあえる仕掛けを随所に取り入れています。この場所は、患者さんのリハビリ意欲の向上に寄与とともに、職員のリフレッシュの場としても役立つ、双方にとって有益な空間となりました。今後は、ここで育てた夏野菜の収穫を組合員と一緒に楽しむイベントなど、地域とともに歩む「健康づくり・まちづくり」の新しい拠点として活用していく展望があります。本動画は、こうした取り組みの過程を、広報担当者 2 名が撮影から編集まで手がけ、協同の価値を伝える作品として制作しました。</p> <p>＜アピールポイント＞</p> <p>本取り組みは、放置されていたテラスを「資源」として見直し、捨てずに活かす方向で再構築した、SDGs 的価値を持つ再生プロジェクトです。予算が厳しい中でも、芝生の選定や畑の肥料を頂き物で補うなど工夫を重ね、約 13 万円に抑えて整備を実施しました。この空間は、患者さんのリハビリ意欲や気分転換を促すだけでなく、職員のメンタルヘルスやコミュニケーションの向上にも寄与し、双方のウェルビーイングを高める場となっています。</p>

4. ショート動画部門応募作品一覧（69件）

こちらから視聴できます（Instagram）

https://www.instagram.com/IYC2025_Japan_Committee/

アカウント名：2025国際協同組合年全国実行委員会

ユーザー名：IYC2025_Japan_Committee



※ マークより、「いいね」を各投稿元へ送ることができます。

No	投稿日	組織名(Instagram公式アカウントURL)	投稿文(一部)	Instagram投稿URL
1	5月2日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	今年は計45名の看護師の仕事に興味を持つ高校生を受け入れました✨	https://www.instagram.com/p/DJJiZZAhY37/
2	5月6日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	高校生看護師体験では見学だけでなく様々な体験を行います。	https://www.instagram.com/p/DJTB8oCB7uX/
3	5月21日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	認定言語聴覚士が講師として歯科医師会の研修会に参加しました✨	https://www.instagram.com/p/DJ5v2VjB9Ac/
4	5月27日	大曲診療所 家族みんなのかかりつけ医／出雲市大津町 @oomagari.izumo https://www.instagram.com/oomagari.izumo/#	毎月のフードライブにあわせて開催している「のきしたカフェ」は、毎回組合員さんが企画・運営してくださっています。	https://www.instagram.com/reel/DKJ_JXrhxkJ/?igsh=MWMzcXF1dDkwZWg0bw==
5	6月4日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	春の高校生医師体験は11名の高校生が参加。医師から医学部入試についての話や医学生時代の体験談を聞きます。	https://www.instagram.com/p/DKdqe2GBuzc/
6	6月5日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	2025年5月31日、静岡から愛知に新所原にて引継ぎがされました。平和行進は、豊橋市の桜丘高校に向かい、大歓迎を受けました。	https://www.instagram.com/reel/DKgwYNak2Lt/?igsh=ejd1cGF2eG9kbDI6
7	6月12日	2025国際協同組合年香川県実行委員会（かがわ協同組合連絡協議会）@kagawaclc2013 https://www.instagram.com/kagawaclc2013/#	2025年6月7日、2025国際協同組合年香川県実行委員会は#瀬戸内国際芸術祭の会場の1つでもある#女木島で清掃活動を実施しました	https://www.instagram.com/reel/DKyrqfuPto/?igsh=cXjeTYxcTdtcjBi
8	6月17日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	6月16日(月)に名古屋市天白のコーポあいちの組合員活動グループにお招きいただいて、組合員アンケートの分析結果の報告をしました。	https://www.instagram.com/reel/DK-2LIrqEsA/?igsh=OHZzbzJ4cXZsNnZ3
9	6月19日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	6月19日(木)コーポあいちのOBでつくる九条の会で、コーポあいちの元理事長で、しげんさいせいネットの理事長もされている夏目有人さんのお話をお聞きしました。	https://www.instagram.com/p/DLFKngzK9SS/
10	6月21日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	いつまでも美味しく食べられるように当院で一緒に学びませんか？	https://www.instagram.com/p/DLKKGu_hBvN/
11	6月21日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	第37回豊橋空襲犠牲者を追悼し平和を誓うつどいに参加してきました。	https://www.instagram.com/reel/DLKAExdqrc-/?igsh=MWNyaTU4NmdrbnFkNQ%3D%3D
12	6月22日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	6月21日(土) 生協生活文化会館にて、「協同組合のアイデンティティ」連続セミナーの第1回を開催しました。	https://www.instagram.com/reel/DLMfMtqquaB/?igsh=cXF2ajZ6b2p0ZTho
13	6月23日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	6月23日(月)地域と協同の研究センターの活動主体である尾張地域懇談会。	https://www.instagram.com/reel/DLPiDPfkJum/?igsh=MWcxa2IydzVoejh4ZQ%3D%3D
14	7月3日	高松協同病院 @takamatsu_kyoudou_hospital https://www.instagram.com/takamatsu_kyoudou_hospital/#	6月に2025国際協同組合年香川県実行委員会主催の女木島海ごみ清掃に、協同病院とへいわこどもクリニックのスタッフで参加してきました。	https://www.instagram.com/reel/DLotpZsuQED/?igsh=MTVhMWo2dW13ZjlwNw%3D%3D
15	7月4日	高松平和病院公式 @takamatsu_heiwa_hospital https://www.instagram.com/takamatsu_kyoudou_hospital/#	6月に2025国際協同組合年香川県実行委員会主催の女木島海ごみ清掃に、法人内のスタッフ3名が参加しました。	https://www.instagram.com/reel/DLrF1jNP4aK/?igsh=MTBqNzAwaXZjcTJydw%3D%3D

No	投稿日	組織名(Instagram公式アカウントURL)	投稿文(一部)	Instagram投稿URL
16	7月23日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	当院イベント企画「いつまでも美味しく食べよう～口や喉も老化するんです～」	https://www.instagram.com/p/DMb10D9hv9/
17	7月24日	北医療生活協同組合 まちづくり推進課 @kitacoop_machizukuri https://www.instagram.com/kitacoop_machizukuri/#	「このまち全部、私の職場」北医療生協では、健康チェック、こども食堂、にじっこひろば、サロンなど地域に密着した活動を行っています。 	https://www.instagram.com/p/DMel-OEpdl/
18	7月28日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	2025年7月14日(月)2025国際協同組合デー愛知が、名古屋市にある生協にて開催されました。	https://www.instagram.com/p/DMoTuyqVgH/
19	7月28日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	2025年7月16日(水)協同組合ネットあいちのメンバー中で、子ども若者支援について検討しています。	https://www.instagram.com/p/DMoXyAqnvO/
20	7月29日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	病院イベント企画「いつまでも美味しく食べよう～口や喉も老化するんです～」	https://www.instagram.com/p/DMrR5kuBuFn/
21	7月31日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	来る2025年8月8日(金)愛知県豊川市にあるひまわり農協の今泉秀哉さんをお招きして、お米や地域の農業、生産者の方の思いなどをお話しいただき、懇談します。	https://www.instagram.com/p/DMw7QWDSfdI/?img_index=1
22	7月31日	JA東びわこ いっぴー@ja_higashibiwako https://www.instagram.com/ja_higashibiwako/	2025年は協同組合年✿皆さんには「協同組合年」ってご存知ですか？	https://www.instagram.com/p/DOCy-qVjBmc/
23	8月1日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	2025年7月18日愛知県豊田市にある保見交流館にて「みんなおいでよワーカーズコーポでコーポ トーキベント」を開催。	https://www.instagram.com/p/DMzFJurlOpz/
24	8月1日	JAこうか 花野果市水口店【公式】 滋賀県甲賀市の採れたて産直 @hanayakaichi https://www.instagram.com/hanayakaichi/?g=5	クイズの答え、みんな知ってたかな??蝶✿さあ始まりました✿蝶 2025年は【国際協同組合年(IYC2025)】✿	https://www.instagram.com/p/DMzjQLTTkTi/
25	8月3日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	2025年8月2日(土)三重県総合博物館で開催される男鹿和雄展を見に行かせていただきました。	https://www.instagram.com/p/DM4Dpaxqn2Y/
26	8月5日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	みなさんは、アンクルンという楽器をご存じでしょうか。インドネシアの伝統楽器で、竹でできています。	https://www.instagram.com/p/DM81TLYqE0o/
27	8月6日	姫路医療生協 共立病院@kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	病院イベント企画「口から美味しく食べよう～口や喉も老化するんです～」	https://www.instagram.com/p/DM_93G0BuRe/
28	8月7日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	80年前の8月7日、かつて東洋一と言われた豊川海軍工廠をB29爆撃機の突然の空襲にされされた。	https://www.instagram.com/p/DNDRvjsKDe2/
29	8月8日	JA東びわこ いっぴー@ja_higashibiwako https://www.instagram.com/ja_higashibiwako/	2025年は協同組合年✿皆さんには「協同組合年」ってご存知ですか？	https://www.instagram.com/p/DNFip1Chaur/
30	8月9日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	地域と協同の研究センターの名前を知らない方も多いかと思います。	https://www.instagram.com/reel/DNICM8Kbuc/?igshid=Ws1cXZrZ3o3Z2tp
30	8月13日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	病棟、外来、訪問診療の看護師が集まり日々変化する医療材料についての使用方法を正しく学びます。	https://www.instagram.com/p/DNR7SIYBE66/
31	8月14日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	80年前は戦争をし、広島、長崎には原爆を落とされ、沖縄の地上戦では沖縄県民の4分の1が亡くなった。	https://www.instagram.com/p/DNUUW2xKjin/
32	8月15日	グリーン近江農業協同組合 @ja_greenohmi https://www.instagram.com/ja_greenohmi/	3JAコラボ企画第3弾!! 【直売所クイズ(その①)】	https://www.instagram.com/p/DNXkFHFJ133/
33	8月15日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	今日は8月15日終戦の日です。各務原を訪問してきたものを少しまとめてみました。	https://www.instagram.com/reel/DNCWWUK_I/?utm_source=ig_web_copy_link&igshid=NTc4MTIwNjQ2YQ==
34	8月16日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	訪問看護ステーション共立ひめじがLICトレーナー2機器を導入✿	https://www.instagram.com/p/DNaI45bBADg/
35	8月20日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	全職員対象に4回に分けて接遇研修を開催✿	https://www.instagram.com/p/DNj6HoAB49/
36	8月22日	JAこうか 花野果市水口店【公式】 滋賀県甲賀市の採れたて産直 @hanayakaichi https://www.instagram.com/hanayakaichi/?g=5	2025年は【国際協同組合年(IYC2025)】✿滋賀県内の3つのJA(JAこうか・JAグリーン近江・JA東びわこ)が特別コラボ投稿しています！	https://www.instagram.com/p/DNpevsyTwJS/
37	8月23日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	2025年は国連が定めた「国際協同組合年」です。	https://www.instagram.com/p/DNsL-J8ZOQj/
38	8月27日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	病棟での「いやしの時間」午後のブレイクタイム☕	https://www.instagram.com/p/DN18iqB5NY0/

No	投稿日	組織名(Instagram公式アカウントURL)	投稿文(一部)	Instagram投稿URL
40	9月1日	JA東びわこ いっぴー @ja_higashibiwako https://www.instagram.com/ja_higashibiwako/	2025年は協同組合年🌟皆さんば「協同組合年」ってご存知ですか？	https://www.instagram.com/p/DOCy-qVjBmc/
41	9月3日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	全職種でユニフォームを新調しました✨	https://www.instagram.com/reel/DOH-wmCEjOD/?igsh=bnc4aze5Y3hhY2s0
42	9月4日	グリーン近江農業協同組合@ja_greenohmi https://www.instagram.com/ja_greenohmi/	【新商品を発売前にいち早く食レポ♪】	https://www.instagram.com/p/DNXkEept9S/
43	9月5日	Umel(ウメル) 食と農の隙間に届けるWEBマガジン@umel_ja https://www.instagram.com/umel_ja/	「Umel(ウメル)」のイメージムービーを作つてみました。	https://www.instagram.com/reel/DOMyj9-E_Ok/?igsh=MWx3eXgxY29mM3Ybw==
44	9月7日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	2025年8月23日、愛知県新城市の八名地区の「八名夕涼み会」に行ってきました。	https://www.instagram.com/p/DORmQ-eCfJ/
45	9月10日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	8月末に病院夏祭りを開催しました🌟	https://www.instagram.com/reel/DOaCVsYkqY/?igsh=MWR5eDZwNHJvdW4z
46	9月7日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	2025年8月24日、名古屋市のポートメッセなごやで、コープあいちさんの職員フェスティバルが開催されました。	https://www.instagram.com/reel/DORoV9piuZs/?igsh=Z2xpBXB1bTM5dHA3
47	9月7日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	2025年8月29日に協同組合等研究組織交流会というのがあり、その午前に東京大空襲に戦争遺跡などをめぐってきました。	https://www.instagram.com/reel/DOR4eXwivJQ/?igsh=eTg3YmJveTFkMjF5
48	9月12日	JAこうか 花野果市水口店【公式】 滋賀県甲賀市の採れたて産直 @hanayakaichi https://www.instagram.com/hanayakaichi/?g=5	2025年は【国際協同組合年(IYC2025)】🎉滋賀県内の3つのJA(JAこうか・JAグリーン近江・JA東びわこ)が特別コラボ投稿しています！	https://www.instagram.com/reel/DOfjaChD3I/?igsh=MWxxcDYwZXlxYTc0Zw==
49	9月17日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	姫路みなと祭海上花火大会は夏の終わりを感じる素晴らしい花火でした✨ 10月1日(水)よりインフルエンザ & コロナ予防接種が始まります。	https://www.instagram.com/reel/DOsCdZEVpT/?igsh=MXc1eHVwbTY0aWJs
50	9月18日	桜谷地域農村RMO推進協議会 @sakuradani_rmo https://www.instagram.com/sakuradani_rmo/	全国へ響け！協同の思い！「協同の縁」プロジェクト 素敵な縁が もっと もっと つながりますように♪	https://www.instagram.com/p/DOvQvDEkT-1/
51	9月19日	JA東びわこ いっぴー @ja_higashibiwako https://www.instagram.com/ja_higashibiwako/	2025年は協同組合年🌟皆さんば「協同組合年」ってご存知ですか？	https://www.instagram.com/p/DOxsGQXgo03/
52	9月22日	大曲診療所 家族みんなのかかりつけ医／出雲市大津町 @oomagari.izumo https://www.instagram.com/oomagari.izumo/	当診療所では現在「秋の生協強化月間」として、生協活動のPRに取り組んでいます。	https://www.instagram.com/p/DO4rvT1jxS0/
53	9月24日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	共立病院通所リハビリ＆訪問リハビリは理学療法士5名、作業療法士3名、介護職5名、事務員2名、運転手2名利用者様の個別性を重視し“したい事”を実現するために専門職によるリハビリテーションを介護職員と協働しながら提供しています。	https://www.instagram.com/p/DO-I9G0EvIL/
54	9月26日	グリーン近江農業協同組合 @ja_greenohmi https://www.instagram.com/ja_greenohmi/	3JAコラボ企画第9弾!!8月から毎週3JAでリレー公開してまいりました動画企画も最終回✨	https://www.instagram.com/p/DPDtggVCQth/
55	9月26日	地域と協同の研究センター@tiiki_to_kyoudou https://www.instagram.com/tiiki_to_kyoudou/#	地域と協同の研究センターでは設立30周年のテーマとして、平和を掲げました。	https://www.instagram.com/reel/DPDEgbRilCx/?igsh=MWdjNnZxa2diNHpoNg==
56	9月29日	コープこうべの公式 @coopkobekoho https://www.instagram.com/coopkobekoho/	『コープのええやん(いいところ)は何ですか?』🌈	https://www.instagram.com/p/DPLiwEQk5Ey/
57	10月1日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	病棟に看護師が3名入職しました✨	https://www.instagram.com/p/DPQo13CjI5Y/
58	10月8日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	新しい制服は動きやすく機能的です。	https://www.instagram.com/reel/DPiSWIEkiyJ/?igsh=MWo5a2Qzb21ic2FrZQ==
59	10月14日	大曲診療所 家族みんなのかかりつけ医／出雲市大津町 @oomagari.izumo https://www.instagram.com/oomagari.izumo/	10月11日に開催された「夢フェスタin出雲」に、出雲医療生協として参加しました😊	https://www.instagram.com/p/DPyOqDID5P-/

No	投稿日	組織名(Instagram公式アカウントURL)	投稿文(一部)	Instagram投稿URL
		https://www.instagram.com/oomagari.izumo/#		
60	10月15日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	今回は34名の高校生看護体験希望者を受け入れました♪	https://www.instagram.com/p/DP0G6uSkiA7/
61	10月21日	総合病院岡山協立病院 @okayamakyoritsu https://www.instagram.com/okayamakyoritsu/	♪未来へつなぐ健康フェスティバル2025♪11月23日(日)10:00~15:00	https://www.instagram.com/p/DQECWDlEe9w/
62	10月22日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	高校生看護師体験では、看護師だけでなく病院で働く多職種について学びます。	https://www.instagram.com/reel/DQGqlZkhYB/?igsh=YmRxaTlxMzF6am1q
63	10月25日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	姫路医療生協創立50周年記念イベント“共立病院マルシェ”を開催します♪	https://www.instagram.com/reel/DQOdcLlEsEC/?igsh=MTFhc3l5M2dkaTV2Ng==
64	10月29日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	高校生看護師体験Part IIIは疑似体験です。	https://www.instagram.com/p/DQYPt2-klya/
65	10月31日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	平日多忙で予防接種しにくい方のためにインフル＆コロナワクチン外来を実施いたします。	https://www.instagram.com/p/DQdwRrFEm6q/
66	11月12日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	病院マルシェは開始前から大行列♪	https://www.instagram.com/p/DQ8nAyeErPT/
67	11月19日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	病院マルシェは1012名の地域の方々にお越しいただきました♪	https://www.instagram.com/p/DROSDiEEp70/
68	11月26日	姫路医療生協 共立病院 @kyorituhospital https://www.instagram.com/kyorituhospital/	高校生医師体験は2回で計15名が参加。	https://www.instagram.com/p/DRgtGE6kpoD/
69	11月28日	こくみん共済 coop <全労済> @kokumin_kyosai https://www.instagram.com/kokumin_kyosai/	一人ではできないことを、みんなで叶える 誰かの困りごとを、みんなで支える その先に広がるのは、「たすけあい」で繋がる社会	https://www.instagram.com/p/DRl3lcqk1IS/

⑤ “協同”がよりよい世界を築く～連続シンポジウム・座談会

● 第6回「こども・若い世代が主役の社会をめざして～みんなで育てる未来～」シンポジウム開催報告

2025年10月10日（金）、IYC2025全国実行委員会は「”協同”がよりよい世界を築く～連続シンポジウム・座談会」の第6回「こども・若い世代が主役の社会をめざして～みんなで育てる未来～」を開催しました。

本シンポジウムは、未来の担い手である子ども・若い世代が主体として参画する社会をどのようにつくっていくのか、そのためにはどのような協同を広げていくかをテーマに開催し、会場60名、オンライン81名（アカウント）の計141名が参加しました。また、97名からオンデマンド視聴の申し込みがありました。

当日は冒頭、全国社会福祉協議会の村木厚子会長と全国こども食堂支援センター・むすびえ公共政策アドバイザーの湯浅誠氏のお二人から講演をいただいた後、若い世代の報告者とパネリストを中心に論議を進めました。

1. 講演

「こども・若い世代の“いま”を見つめ、未来を支える」
社会福祉法人 全国社会福祉協議会会長 村木厚子氏

日本の若者政策の遅れ、市民活動からの学び、居場所とつながりをつくるために社会により大きな応援団が必要であること、



組織内外と連携する協同組合への期待等を述べられました。

「居場所の力ー誰もが自分らしく生きられる社会へ」
認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ公共政策アドバイザー 湯浅誠氏

2012年IYCの時には想像できなかったレベルで地域コミュニティの維持が困難になっている一方で、年々子ども食堂は増加、多様な居場所を通して地域のつながりづくりが目指されていることなどが述べられました。



2. 活動紹介

労働者福祉中央協議会（中央労福協）事務局次長 関根新太郎氏
高等教育費に関する取り組み、世代を超えたつながりづくりの取り組みについて



日本労働者協同組合連合会 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 南東北事業本部事務局次長 濑戸理音氏



「みんなのBASE」を中心としたフリースクールや居場所づくり、相談の場づくりについて

日本生活協同組合連合会 社会・地域活動推進部サステナビリティ推進グループ 百瀬紋乃氏



75周年事業「WE CO・OP」と、社会課題に取り組む若者団体との協働について

一般社団法人 NO YOUTH NO JAPAN共同代表 足立あゆみ氏
参加型デモクラシーに向けた若者の政治参加を促進する活動、「WE CO・OP」との関わりについて

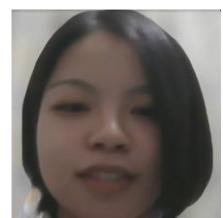


全国大学生活協同組合連合会 全国副学生委員長 濑川大輔氏
全国で1万人を超える学生委員が携わる各大学でのコミュニティづくり、全国・地域での連帯活動について



3. 特別報告（オンライン）

ほっかいどう若者応援★学生プロジェクト共同代表 橋元友菜氏
地域貢献したい学生とボランティア不足の子ども食堂をつなぐ活動に、30校から115人が参加、コロナ禍で支援された側の学生が支援する側となり、自身の居場所にもなっていること等



4. パネルディスカッション

子ども・若者世代に関する協同組合の課題をめぐり若い世代を中心に論議し、最後に村木厚子氏と湯浅誠氏よりコメントをいただきました。

パネリスト：

労働者福祉中央協議会 ディレクター 裕謙丸 巧氏

日本労働者協同組合連合会 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 埼玉事業本部和光さつき地域福祉事業所 大木実莉氏

日本生活協同組合連合会 社会・地域活動推進部サステナビリティ推進グループ 百瀬紋乃氏

一般社団法人 NO YOUTH NO JAPAN共同代表 足立あゆみ氏

全国大学生活協同組合連合会 全国副学生委員長 瀬川大輔氏

(ファシリテーター：日本労働者協同組合連合会 専務理事補佐 中野理氏)

ディスカッションでは、協同組合はつながりを作ると共に、ひとりひとりがかけがえのない存在であることを実感できる組織なのではないか、若者と社会の間に入つてつながりを応援してはどうかといった提案の一方、協同組合の情報発信デザインを刷新し、若者自身から発信することや組合員や若者の参加のあり方見直しの必要があるのではないか等、協同組合に対する様々な示唆がありました。



裕謙丸巧氏



大木実莉氏



中野理氏



● 第7回「食料安全保障をめぐる状況と協同組合が果たすべき役割」 シンポジウム開催報告

2025年10月21日（火）、IYC2025全国実行委員会は「“協同”がよりよい世界を築く～連続シンポジウム・座談会」の第7回として「食料安全保障をめぐる状況と協同組合が果たすべき役割」を開催しました。会場（大手町三井カンファレンス）とオンラインのハイブリッドで行われ、会場参加15名、オンライン参加約100名が参加しました。

1. 食料安全保障の確保と協同組合の役割

開会にあたり、司会の伊藤治郎・IYC2025全国実行委員会事務局長（JCA常務理事）から趣旨説明があり、続いて比嘉政浩・IYC2025全国実行委員会幹事長（JCA代表理事専務）が基調解説を行いました。比嘉幹事長は、2024年に改正された「食料・農業・農村基本法」で“食料安全保障の確保”が基本理念に位置づけられたことを紹介し、「良質な食料が合理的な価格で安定的に供給され、すべての国民が入手できる状態が食料安全保障の定義である」と説明しました。また、人口減少・気候変動・国際的な穀物価格の変動・物流の2024年問題など、国内外のリスク要因を挙げ、平時にもリスクは存在する。国内生産の維持・向上と輸入・備蓄・流通体制の強化、価格の適正形成など、協同組合が果たすべき役割は多い」と強調しました。



2. 各協同組合の実践報告

続いて、各協同組合グループから実践報告が行われました。

全国農業協同組合中央会 常務理事 藤間則和氏（JAグループ）

食料安全保障の柱として「国内生産の維持・拡大」「担い手確保」「農地・水資源の保全」を挙げ、米価高騰の背景と今後の需給安定策を示しました。



全国漁業協同組合連合会 代表理事専務 内田珠一氏（JFグループ）

海洋環境の激変、漁業資源の変動と燃油高騰の中で、地域水産業を支える協同の取り組みを報告。国産魚の安定供給と消費拡大への取組を紹介しました。



日本生活協同組合連合会 代表理事副会長 嶋田裕之氏（生協グループ）

消費者協同組合としての「食の安全・安心」への責任を強調し、産直を通じた国内産地との連携による調達・供給の安定化や、食育・フードロス削減の取組を報告しました。



3. ディスカッションとまとめ

後半では、生源寺眞一氏（東京大学・福島大学名誉教授、日本農業研究所研究員）のコーディネートにより、登壇者間で意見交換が行われました。

「国産農水産物の生産基盤を守るための協同」「消費者と生産者をつなぐ仕組み」「危機時に備えた備蓄・流通の再構築」「協同組合間連携による課題解決に向けた取り組み」など多角的に議論が交わされました。



最後に生源寺氏は、「食料安全保障の確保は、国や行政だけでなく、協同組合を含む多様な主体が連携して支えるものである」と総括しました。



● 第8回「地域の未来を共創する協同組合のジェンダー平等」シンポジウム開催報告

12月3日（水）、IYC2025全国実行委員会は“協同”がよりよい世界を築く～連続シンポジウム・座談会第8回「地域の未来を共創する協同組合のジェンダー平等」をオンライン開催し、70名（アカウント）が視聴しました。

兵庫県豊岡市の元市長の中貝宗治氏の講演、JAと生協からの報告と質疑・ディスカッションを通して、日本社会にとってジェンダーギャップ解消がなぜ必要か、地域で事業・活動を進める協同組合が組織として取り組むことで、地域の未来に向けた貢献となることを学びました。

1. 講演

「ジェンダーギャップって何だろうーまちや企業が消えるかもしれない大問題ー」
豊岡アートアクション理事長、元豊岡市長 中貝宗治氏

社会的・文化的に作り上げられた男女の格差が「ジェンダーギャップ」。豊岡市の人口の「若者回復率」には男女で差があることを発端に、若い女性に選ばれない地方の現状の原因にジェンダーギャップがあることに気づき、2018年からその解消に向けた取り組みを開始し、地域の未来に向けて市内の事業所や学校、市民を巻き込んで実施されている「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」の背景となる考え方について詳しくお話をいただきました。



2. 協同組合からの報告

「女性活躍推進プロジェクトの取り組みについて」
JAグリーン近江 イノベーション統括室 課長補佐 植田好氏

職員一人ひとりがやりがいをもって幸せに働くことを目的に、「女性活躍プロジェクト」をスタートさせ、「自分たちの思いを形にできるコミュニティ」「興す力」を通して具体化してきたこと等を報告されました。



「皆様（女性幹部＆女性職員）へのメッセージ」
生協ひろしま 専務理事 高浦美穂氏



まだ数少ない全国の生協の女性幹部・役員の交流会を3回自主開催する中で、ネットワーク作りや励ましあい、様々な悩み・質問に答えてきた内容、生協ひろしまD&Iワークショップ」の様子等を報告されました。

以降は、日本協同組合連携機構・基礎研究部小川理恵部長の進行で、オンライン参加者からの質問・感想を交えて意見交換を行い、人口減少を危機として受け止め、未来に向けてどのように認識を深めていくか、そのコミュニケーションのプロセスと共感が重要であることなどが話し合われました。



● 第9回「暮らしを支える医療・福祉」シンポジウム開催報告

12月13日（土）、IYC2025全国実行委員会は“協同”がよりよい世界を築く～連続シンポジウム・座談会の最終回となる第9回「暮らしを支える医療・福祉」をオンライン開催し、約80名（アカウント）が視聴しました。

さわやか福祉財団・清水肇子理事長と日本農福連携協会・皆川芳嗣会長理事からの特別報告、3つの協同組合からの事例報告の後、大阪大学大学院の齊藤弥生教授のコーディネートによる登壇者全員のパネルディスカッションで、協同組合の医療・福祉事業の特質、関係者同士の相互性、地域に住む多様な人々のニーズへの配慮や暮らしへの貢献について論議を深めました。

1. 特別報告

助け合いの地域づくりを共に～誰もが自分を生かして幸せに暮らせる社会をつくろう～

公益財団法人 さわやか福祉財団 理事長 清水 肇子氏

地域共生社会をめざす中間支援組織として、各地で助け合い活動を推進していること、人生100年時代は「多様性」



「双方向」「尊厳」がキーワードとなることなどを報告されました。

ノウフクは日本を、世界を救うか？

一般社団法人 日本農福連携協会 会長理事 皆川 芳嗣氏

農福連携とは、障がい者の農業分野での活躍を通じて社会参加を促す取り組みであること、国の「農福連携等推進ビジョン」では4省庁連携で、取り組み主体と「ユニバーサル農園」を増やすことが掲げられていることなどを報告されました。



2. 事例報告

介護サービスでの社会参加と協同の実践～本人の声から始める社会参加型介護サービスの取り組み～

福井県民生活協同組合 常務執行役員（福祉事業管掌）蓬萊谷 修久氏

同生協が運営する認知症対応型通所介護施設「丹南きらめき」の社会参加型介護サービス「BLG丹南」では利用者が、自分で決めたことを、自分の役割として生き生きと活動していることが報告されました。



誰もが健康で居心地よくくらせるまちづくりへ

愛媛医療生活協同組合 愛媛生協病院 副院長 原 穂高氏

交通不便が地域課題となっていることから、乗り合い送迎サービス「チョイソコ」を地域・企業と共に運行していること、「誰もが健康で居心地よくくらせるまちづくり」に向けて班や集いの場づくりをしているなどの特徴と課題を報告されました。



ブランディングが紡ぐ病院協同～足助病院ブランディングプロジェクト～

愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院 病院長 小林 真哉氏

豊田市北東部の中山間地域のへき地医療拠点病院である足助病院の存在を広く知ってもらうために、農業、文化、防災など様々な分野で地域の多職種・異業種と幅広く連携・協同の取り組みを広げ、魅力的な発信を継続していることなどが報告されました。



3. 登壇者によるパネルディスカッション

コーディネーター

大阪大学大学院 人間科学研究科 教授 斎藤 弥生氏

地域住民である組合員が中心となる日本の医療の協同組合は、世界的でも例のない独自の仕組みとして評価されています。組合員と専門職



の協働は、ケアする側・される側という従来の二分法を超え、「元気な人が集う病院」や「集い」は地域住民が主体的に関わる健康づくりの場となっています。多様な地域資源とつながることで、地域住民の理解や地域の活性化に貢献できること、そのための対話やコミュニケーションの重要性などが議論されました。

また、清水理事長および皆川会長理事からは、「協同組合はよりよい世界を築きます」をテーマとする2025国際協同組合年が終了した後も、協同組合の果たす役割は変わらないとの考えが示されました。これを機にますます農福連携、福祉・介護をはじめ、地域共生をめざして活動する様々な組織・団体との連携を広げていくことへの期待が述べられました。



(進行) 日本医療福祉生活協同組合連合会 椎野 智子氏

●第4回「SDGsと協同組合」シンポジウムの開催報告書をアップしました

7月5日（土）に開催しました「SDGsと協同組合」シンポジウムの詳細な開催報告書を公開いたしました。登壇者資料や動画とあわせてご覧ください。

報告書はこちらからご覧いただけます。

<https://www.japan.coop/wp/19879>



⑥全国各地の2025国際協同組合年の取り組み

●生協ひろしまとJA全農ひろしま、JA広島中央会が包括的連携協定を締結—協同組合間連携で地域課題解決を加速—

生協ひろしま・JA全農ひろしま・JA広島中央会は2025年10月24日、地域農業の持続的な発展と地産地消の推進を目的とした包括的連携協定を締結しました。この協定により、農畜産物の安定供給、食と農の教育活動、地域社会の活性化、災害時の相互協力など7分野にわたる協同組合間連携を進めていく方針です。

協定締結にあわせて、生協ひろしまはJAグループ



広島と協働で生産したコメ「あきろまん」約1,400tを、広島こども食堂支援センターなどを通じて県内約100の子ども食堂へ寄贈しました。この米は、それぞれの協同組合の職員が協力して栽培・収穫したものです。来年度以降は、生協組合員からも米作りへの参加を募り、活動の輪を広げることが計画されています。

この協定は、2025年の国際協同組合年をきっかけに締結されたものです。この他にも県内の協同組合は、「持続可能な地域コミュニティと平和」をテーマにかけ、様々な活動に取り組む1年としています。

●高知県内の協同組合が連携して「第3回 協同組合フェスタ」を開催 — 国際協同組合年のPR企画も —

11月8日、とさのさと・アグリコレットにおいて「第3回 協同組合フェスタ」が開催されました。本イベントは、2025国際協同組合年こうち実行委員会（協同組合連絡会議こうち）が主催し、県内の農協・森林組合・生協・労協など、幅広い協同組合が連携して実施したものです。

当日は多くの来場者でにぎわい、家族連れや若い世代も多く訪れました。会場には、地元産品の販売や飲食ブース、木工体験や迷路など、各協同組合の趣向を凝らしたブースが並び、来場者は楽しみながら協同組合の取り組みを体験しました。

また、2025年が国際協同組合年であることにちなみ、会場ではその意義や歴史を紹介するタペストリー展示、協同組合の価値・原則を紹介するPRコーナーも設けられ、地域社会の持続的な発展に果たす協同組合の役割を発信しました。

主催者は「協同組合間のつながりを強め、地域とともに発展していく契機となった。国際協同組合年の意義を共有しながら、今後も協同の輪を広げていきたい」と話しました。



国際協同組合年のロゴ旗でPR



国際協同組合年の特設ブース
(クイズに答えて景品プレゼント)



JAグループのブースで県産品と国消国産をPR



労働者協同組合のブース



生協のキッチンカー



JA厚生連のブースで健康チェック



こくみん共済coopの段ボール迷路



森林組合の木のおもちゃ



会場でフードドライブを実施

●広島県で労働金庫とこくみん共済 coopの労働組合の合同セミナーが開催されました

2025年11月21日（金）～22日（土）、中四国・九州・沖縄エリアの労働金庫とこくみん共済 coopの労働組合6組織が主催する「2025年度組合役員セミナー」が開催され、JCAの協同組合連携2部 小島愛美 連携推進マネージャーが講師として登壇しました。本セミナーは、毎年、組織間の繋がり・対話等を通じながら、次世代組合役員の育成や労働者自主福祉運動の発展を目的に開催されているものです。

今年度は6組織の次世代を担う若手組合役員と事務局の約30名が参加しました。

1日目は、「中央労福協2030ビジョンにおける労働者自主福祉運動の位置付けと役割」（中央労福協 講師団講師 高橋 均氏）と「協同組合とIYC2025」（JCA 小島）の2つの

基調講演に加えて、「"いま"備える!」「労働金庫・こくみん共済 coop の相互利用の取り組み」「ジェンダー平等の実現にむけて」の3つの学習会が実施されました。

「協同組合とIYC2025」では、協同組合のアイデンティティにも触れながら、協同組合がめざす地域課題解決の取り組みと労働組合の諸活動との重なりや通じる想いなどについて、述べました。

2日目は、原爆ドームをはじめとする原爆遺跡を巡り、平和の尊さについて学ぶ「ピースウォーク」を実施した後、分散会が行われました。

分散会では参加者から、協同組合への理解や共感を広げていくことや学ぶことの重要性について発言されるとともに、共益だけでなく公益の視点についても学び、今後の実践につなげていきたいといった意見が挙げられました。



基調講演をするJCA 協同組合連携
2部 小島連携推進マネージャー



分散会の様子



●愛媛県と北海道の連携組織が地域を越えた交流集会を開催 — 昨年の JCA 全国交流会議での出会いが県域をつなぐ —

11月14日、2025年国際協同組合年（IYC2025）を記念し、愛媛県協同組合協議会と協同組合ネット北海道は「愛媛・北海道交流集会」を開催しました。

本集会は、両地域の協同組合が課題や実践を共有し、連携をさらに深めることを目的として実施されたもので、愛媛農協学園（松山市）と北農ビル（札幌市）をオンラインで結んで行いました。

当日は、愛媛県から連携組織の活動紹介が行われ、続いて柑橘収穫等のための労働力確保や就農支援の取り組みについてJAにしうわから、持続可能な漁業を目指す漁業の課題と取り組みが愛媛県漁協から報告されました。また、北海道からは北海道大学講座、合同就活説明会、子どもの居場所づくり応援基金など6つの取り組みについてそれぞれの担当団体から報告がありました。

参加者は愛媛県・北海道それぞれの会場のグループで発表への感想と質問を出し合い、これにもとに行われた全体討議では、連携活動を進めるための日常的な運営方法や、地域は離れていても環境変化やコスト高などの課題が共通していることなどをめぐって、活発な意見交換が行われました。

また両会場には、応援コーディネーターとして北海道大学大学院の板橋衛教授（元愛媛大学教授）、小林国之准教授が参加し、異なる協同組合が課題を共有することで単独で取り組む以上の可能性が開けること、協同組合は理念と経済活動を両立させることが特徴であり強味であること等の助言と共に、討議内容の取りまとめに協力いただきました。

た。

今回の交流会は、昨年2月に日本協同組合連携機構（JCA）が開催した全国交流集会で、愛媛県と北海道の連携組織が出会ったことをきっかけに企画され、実現したものです。JCAでは、今年度の全国交流会議を2月6日に開催し、全国各地で取り組まれているIYC2025の活動共有や協同組合間連携の新たな展開を協議する予定です。



●香川大学で新たに「協同組合概論」を開講 — 地域の協同組合と連携し、協同の理念と実践を学ぶ —

香川大学では、2025年度より新たに「協同組合概論」を開講しました。本講座は、2025国際協同組合年を契機に、協同組合の理念や基本原理、歴史的発展、そして香川県を中心とした地域社会における役割を体系的に学ぶことを目的としています。

講座には、日本協同組合連携機構（JCA）の青木覚連携推進マネージャー、コープかがわ、JA香川県、香川大学生協など、多様な協同組合の実務者がゲスト講師として登壇。それぞれの協同組合の歴史や実践、協同組合間連携の取り組みについて、講師と学生が意見交換を行いながら、協同の価値を多面的に学びます。

授業では、担当教員の岡田徹太郎教授によるワークやグループディスカッションの時間も設けられており、学生が主体的に考え、協同の意義や課題を自分ごととして捉える参加型の構成が特色です。協同組合の理念や事業を単に知識として学ぶだけでなく、対話を通じて理解を深めることができます。

学生は、非営利セクターの役割、協同組合の仕組みや種類、SDGsとの関係、さらには生協や農協の具体的な地域における実践まで幅広いテーマを学びます。講義やレポート、ワークを通じて、協同組合が果たす社会的・経済的機能と地域共生社会への貢献について理解を深めることができます。



● 島根大学が協同組合に関する講座を新設—地域課題の解決に向け、大学と協同組合が連携して人材育成を推進—

2025年10月、島根大学において初めて協同組合に関する体系的な授業が開講されました。本講座は、地域社会の持続的な発展に貢献する人材育成を目的に、島根県生活協同組合連合会の創立50周年を記念して企画され、島根県協同組合連絡協議会、日本協同組合連携機構（JCA）などが協力して実現したものです。

講義は全14回で構成され、協同組合の理念・歴史に加え、県内の各種協同組合（生活協同組合、農業協同組合、森林組合、労働者協同組合など）の現状や課題、地域社会との関わりを取り上げます。講師は各団体の実務者が務め、JCAからは、常務理事の伊藤治郎、主任研究員の岩田恭彦、連携推進マネージャーの青木覚が登壇しました。また、学生が地域社会や経済に果たす協同組合の役割について討議・提言するディスカッション形式の授業も設けられています。

初回のガイダンスでは、島根大学の飯野公央教授と島根県生協連の矢倉淳会長が講義の目的を説明しました。お二人は「協同組合の理念は“ともにたすけあい、地域を支える”こと。島根県では人口減少や地域経済の縮小がすすんでおり、協同の力が果たす役割を考えることが一層重要になる」と学生に呼びかけました



● 福島県でIYC記念事業「協同組合が守る子どもたちの食と未来」が開催されました

2025年11月30日（日）、IYC2025福島県実行委員会の主催で記念事業「協同組合が

「守る子どもたちの食と未来」が開催されました。子どもたちの食と農への理解を進めようと、親子での参加を中心に呼びかけられ、福島市内のJA福島ビルとJA福島教育センターを会場に、大人向けの座談会から子ども向けの体験型イベントまで、多彩な企画が行われました。

大人向けの企画として、座談会「わが国の食料安全保障確立のための消費者理解の促進について」が、学校給食と食育をテーマの中心にして行われました。最初に農林中金総合研究所の尾高部長より、食育基本法における学校給食と農林水産業の関係、米飯給食の普及と地場産物の利用状況などの解説がありました。

続く3つの報告では、JA全農さいたまの飯野部長から埼玉県の学校給食への県内農畜産物の導入状況、特に県産米の100%使用や当該市町産米指定の場合の流通管理等について紹介されました。次に、全国で給食サービスを受託しているシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社の永田室長から「食育キャラバン隊」で給食センターと子どもをつなぎ、子どもが考えた献立を実現する食育授業等を行っている取り組みが報告されました。最後に、県生協連池端理事からは生協の食育についての考え方と福島県の給食・食育への期待が述べされました。

その後の質疑・意見交換では、給食が食育の重要な機会であること、多様なステークホルダーが存在する現状、給食無償化の影響をどう見るかといった点について意見が交わされました。あわせて、地産地消を支える生消交流等に関する発言がありました。

一方、小学生向けの企画では「食べ物のことを知ろう・交流会」「スタンプラリー形式の体験・展示コーナー」が設けられ、各協同組合それぞれの特色あるブースや展示でたくさんの親子が楽しむ姿が見られました。

また、食堂では「収穫感謝祭」として、「海のなべ（カナガシラのつみれ汁）」と「農のなべ（麓山高原豚の芋煮汁）」、会津産コシヒカリのおにぎり等、県産品を調理した昼食が参加者にふるまわれました。カナガシラは美味しい魚ですが頭が大きく身も少ないのであまり利用されてこなかったもので、県漁連が商品化に取り組んだ食材です。

協同組合間の協力で、学び、遊び、味わうことを通して、協同組合の魅力あふれる記念企画となりました。

【2025国際協同組合年福島県実行委員会・委員構成組織】

福島県農業協同組合中央会、福島県漁業協同組合連合会、福島県森林組合連合会、福島県生活協同組合連合会、福島大学食農学類

※福島県実行委員会は、地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会（以下、地産地消ふくしまネット）を母体に2024年12月16日に設立されました。



実行委員会の原喜代志会長(JA中央会会長)挨拶
30



座談会の様子



県産品いっぱいの昼食



菌床シイタケ収穫



小学生対象の交流会



おにぎり作り



米一合当て



会場の様子

● 協同組合協議会大分県記念集会が開催されました

12月5日（金）、大分県協同組合協議会が主催する「協同組合協議会大分県記念集会」が開催され、JCAの協同組合連携1部の池田聰連携推進マネージャーが講師を務めました。県内の協同組合や連合会から約60名の参加がありました。

講演では、「日本社会に広がる協同組合」、「協同組合への注目と期待～2025国際協同組合年～」、「協同組合が大切にしていること」の3部構成で説明しました。参加者には、IYCというチャンスの年に協同組合の理念への理解をあらためて深めていただき、2026年以降の行動につなげることを呼びかけました。

講演後のワークショップでは、各地の事例紹介を参考にしながら地域の課題を協同組

合がどのように解決するのかをテーマに議論が行われました。当日は、地元のマスメディアである大分合同新聞社も取材に訪れ、記念集会の様子は後日の紙面にも掲載されました。



当日の研修会の様子



ワークショップの様子

●島根県で「IYC2025シンポジウム」を開催 — SDGsを見つめ直し、協同組合の未来を語り合う —

島根県協同組合連絡協議会は2025年11月21日、松江市くにびきメッセ多目的ホールにて、国際協同組合年（IYC2025）をテーマにしたシンポジウムを開催しました。当日は、県内の協同組合関係者など約80名が参加する中、協同組合が地域をささえる力や、これから連携の可能性について意見を交わしました。

基調講演では、島根大学大学院の松本一郎教授が『縁結びが世界を救う』と題して、SDGsの考え方と協同組合の価値の共通点をわかりやすく説明しました。島根県生協連の企画で参加したフィンランド・ドイツの協同組合視察の経験を紹介しながら、協同組合のたすけあいの精神はSDGsそのもので、地域に根ざした協同の力が、持続可能な社会づくりにつながることを強調しました。また、タイトルにある『縁結び』をキーワードに、地域内外の組織がつながることの重要性を示し、協同組合が果たす役割を再認識する講演となりました。

後半のパネルディスカッションには、松本一郎氏（島根大学大学院 教授）、早瀬悟史氏（全国森林組合連合会 組織部 部長）、青木 覚（JCA 連携推進マネージャー）の3名が登壇し、①協同組合の現状と課題 ②地域で進む魅力的な取り組み ③今後めざす協同の姿をテーマに意見が交わされました。

ディスカッションでは、森林組合による地域資源の活用、生協とJAの連携による地域支援、大学での協同組合講座の広がりなどの様々な実践例が紹介され、県内での協同組合間連携のさらなる発展に向けた提案が示されました。



● こくみん共済 coop 中四国統括本部主催「2025国際協同組合年研修会」が開催されました

2025年12月11日（木）～12日（金）、こくみん共済coop中四国統括本部主催の「2025国際協同組合年研修会」がコープこうべ協同学苑で開催され、JCAのIYCプロジェクトチーム 丹後真一 マネージャーが登壇しました。

本研修会には、中四国統括本部内の次世代を担う職員や地域に密着した業務を行う職員を対象に、賀川記念館とコープこうべ協同学苑の視察、セミナー講演、グループワークが行われ、合計40名が参加しました。

JCAの丹後マネージャーは講演「協同組合とは？～IYC2025を契機に考える～」で、①社会における協同組合の広がり、②IYC2025、③協同組合のアイデンティティ、④共済が果たす役割、について説明し、学び続けることの重要性や、それを自分ごととして実践・発信することの意義についても述べました。

翌日は、参加者を8グループに分け、「自己紹介＆アイスブレイク」と「こくみん共済coopってどんな組織？～自分の言葉で伝えよう～」をテーマにグループワークを行いました。各グループでは、共済ショップを訪れた初めての組合員への説明や、労働組合の新入組合員への伝え方など、日常業務に即した具体的なケースをもとに、①協同組合とは何か、②こくみん共済coopとは何か、③共済とは何か、について意見を出し合い、話し合いました。その後のワールドカフェでは、各グループが交流し、実務にも活かせる気づきが得られました。

最後に、参加者は「私の協同の一歩」宣言として、2日間の学びや気づき、日々の業務の中で意識して取り組むべきことをフリップボードに記入しました。

今回の研修を通じて、協同組合の原点への理解を深め、自分ごととして捉えるきっかけを作るとともに、職員一人ひとりの実行力向上につなげることができました。



コープこうべ協同学苑



研修会の様子



グループワークの様子



コープこうべ協同学苑 資料館視察の様子